

前回（第8回）会議 主な意見と対応の考え方について

（開催後いただいた「ご意見票」等による意見を含む）

第8回会議で出された意見	対応の考え方
再編整備計画に関すること（学校名、校章、校歌、標準服等）について	
<p>標準服の買い替え等を考えてあらかじめ木川小学校への入学を選択するご家庭があり、他の2校に入学する児童が減っている。2年後の統合に向けて標準服等の取扱いを考えるのでは、これから入学する保護者に向けての学校説明会で取扱いを明確に説明ができないことから、早急に対応を進める必要があるのではないか。</p>	<p>関係3校の保護者及び地域に配付する「学校適正配置ニュース」の他、令和9年度の新入生に向けた学校案内冊子等を通じて、統合に伴う標準服等の買い替えの負担は生じないことを広く周知していくとともに、統合後の木川小学校における標準服等の運用面に関しては、令和10年4月の統合に向けて、できるだけ早く検討会議での意見集約を進めていきます。</p>
<p>3校の進学先である十三中学校では男女ともスラックスを選択できるようになっている。実際スラックスを選択している女子生徒が多く、小学校でも長ズボンを選択肢に加えることで喜ぶ女子児童は多いと思う。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、統合後の木川小学校における標準服の運用面について検討会議での意見集約を進めていきます。</p>
<p>実際の中学校の様子を見て、女子生徒がスラックスを履いていることに違和感はなく、今回の統合を機に長ズボンの導入を検討していくのがよい。</p>	
<p>防寒のために標準服の上着ジャケットの下に市販のセーターを着用できるが、温度調節のために上着を着用せずにセーターを着用して校内で過ごすことができないといった運用面でのルールがあるのであれば、校章入りのセーターを導入して上着なしで着用可としてはどうか。</p>	
<p>校章入りのセーター等、標準服の品目を増やすと、その着用が義務付けられる雰囲気になり、結果として保護者の経済的な負担が増えてしまうのではないか。</p>	
<p>統合を機に、時代にそぐわないルールも見直す必要があると思う。</p>	

木川小学校 校舎増改築工事について

現在の校舎の形や運動場の広さ、遊具の内容は工事後にどれだけ変化しているのか。

工事期間中及び工事終了後の校舎等の配置については、第 8 回検討会議の資料に添付の図のとおりです。

統合で児童数が増えると遊具が不足したり、運動場が混雑して危険ではないか不安である。

運動場の面積については工事前が約 6,140 m²、工事後が約 6,400 m²となる見込みです。これをそれぞれ令和 7 年度の児童数と令和 10 年度の児童数（推計）で割ると、児童 1 人あたりの面積は工事前が 14.98 m²/人、工事後は 12.98 m²/人となります。なお、文部科学省が定める国の小学校設置基準では、児童 1 人あたり概ね 10 m²を確保することとされています。

また、工事後の遊具の配置については、木川小学校の意見・要望を反映することとなっています。